

金田城について

663年、白村江(はくすきのえ/はくそんこう)の戦いにおいて唐・新羅連合軍に敗れた倭(国)は、西日本各地に古代山城を築き、対馬・壱岐・筑紫に烽火(とぶひ)と国境守備兵・防人(さきもり)を配置しました。日本側の当事者は中大兄皇子(なかのおおえのおうじ、のちの天智天皇)で、大化の改新という政治改革を進めながら外国からの侵略にも備えるという、まさに激動の時代でした。

国境の島・対馬は国土防衛の最前線となり、浅茅湾(あそうわん)の複雑な海岸線と、湾に突き出した石英斑岩の岩塊・城山(じょうやま)の地形を利用し、667年、古代山城・金田城が築かれました。防人たちはおもに関東から徴兵され、家族や故郷を想う心情が万葉集の「防人の歌」として今に伝えられています。

また、明治期には金田城を再整備する形で城山砲台が建造され、陸軍砲兵部隊が国境防衛の任にあたりました。その間およそ1200年が経過しているにもかかわらず、城山の軍事的な重要性は変わらなかったこととなります。

山頂からは防人も眺めたであろう国境の海を一望でき、春にはゲンカイツツジ、秋にはダンギクなど対馬を代表する花々も観察できます。ぜひ現地を訪れ、「国境の島・対馬」の自然・歴史・景観が凝縮された金田城の魅力をお楽しみください。



所在地 長崎県対馬市美津島町黒瀬
築城年 667年(天智6年)
築城者 ヤマト政権
文化財 1982年(昭和57)国指定特別史跡
城山の標高276m
(山頂付近の三角点は272.8m)
登山口から山頂までは片道約2.4km

かね だ じょう

続日本100名城 金田城

～国境の島・対馬、国防の最前線～

続日本100名城 スタンプ設置場所 (要:公式スタンプ帳)

2017年(平成29)4月6日、金田城は続日本100名城に認定されました。

- ①美津島地区公民館(長崎県対馬市美津島町鶏知甲1287-1)
電話 0920-54-4044 <https://goo.gl/UnAkve> (Googleマップ)
- ②観光情報館ふれあい処つしま(長崎県対馬市巖原町今屋敷672-1)
電話 0920-52-1566 <https://goo.gl/oP3MJf> (Googleマップ)

お問い合わせ

観光：一般社団法人 対馬観光物産協会 TEL 0920-52-1566
歴史：対馬市教育委員会文化財課 TEL 0920-54-2341



一般社団法人 対馬観光物産協会

〒817-0021 長崎県対馬市巖原町今屋敷672-1
観光情報館ふれあい処つしま
TEL 0920-52-1566 / FAX 0920-52-1585
<https://www.tsushima-net.org/>

続日本100名城 金田城攻略マップ



城山山頂



城山砲台・観測所

砲台跡～山頂

山頂付近には明治期の城山砲台跡(28センチ榴弾砲の砲座や井戸など)があり、そこから急傾斜の山道を5分ほど登ると山頂からの大パノラマが広がります。

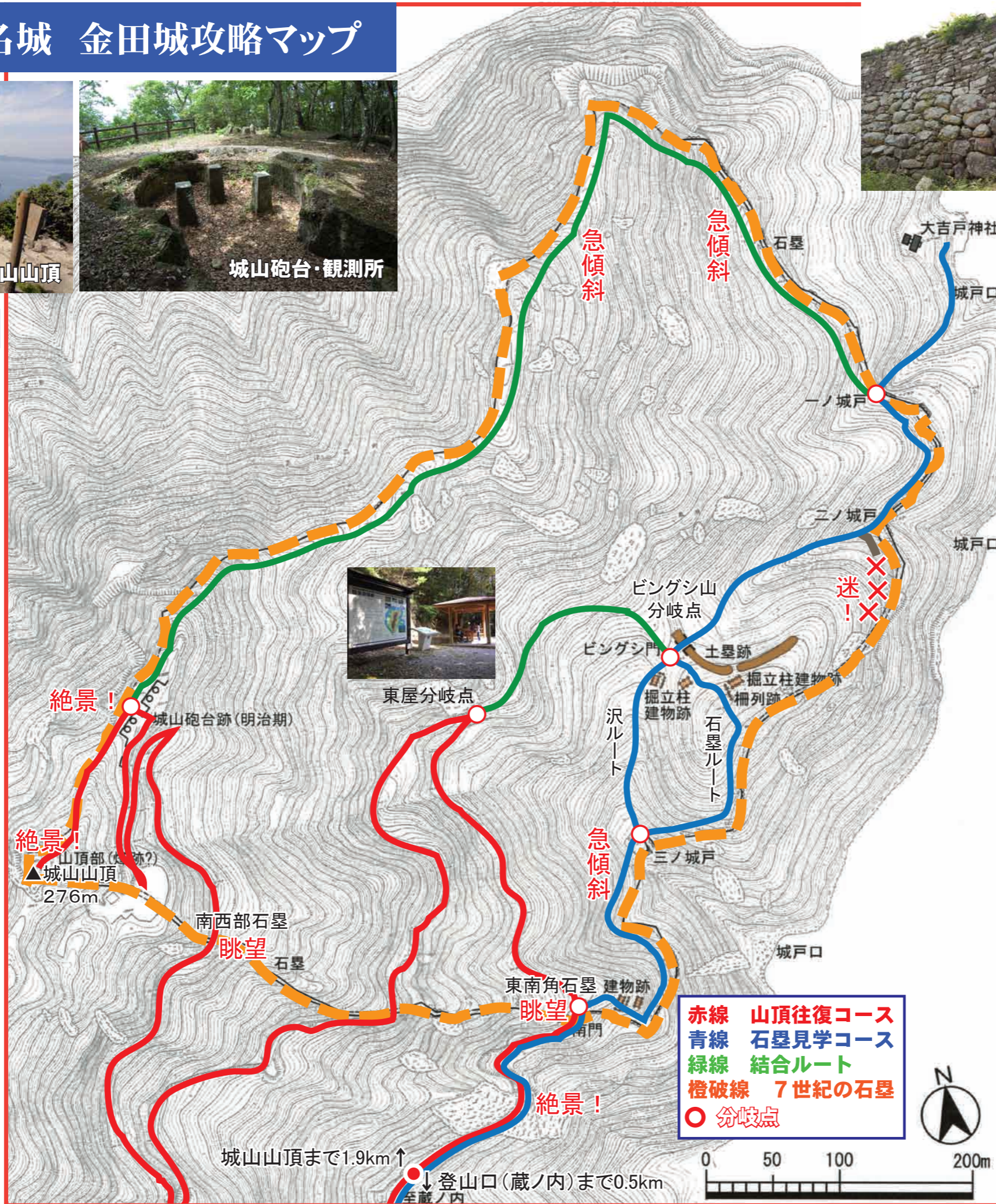
石塁(せきるい)

城山をぐるりと取り囲む石塁(石垣)の総延長は約2.2km、最も高い石塁は約6.7mに達します。



南西部石塁

図: 対馬市教育委員会提供



一ノ城戸

城戸(きど)・水門

比較的なだらかな東側斜面には石塁が高く積み、城の内外を交通するための城戸(城門)が沢ごとに設けられています。水圧による決壊を防ぐための水門は現在も機能しており、その技術力に驚かされます。



一ノ城戸の水門



二ノ城戸

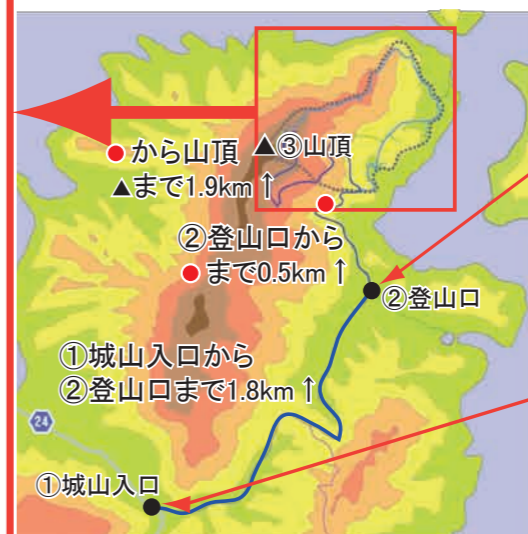


三ノ城戸



東南角石塁

山頂往復コース (登山口～山頂)
山頂からの絶景を楽しめます(片道2.4km)
石塁見学コース (登山口～大吉戸神社)
城戸・石塁・水門を見学できます(片道1.5km)
結合ルート (城山登山口～山頂～大吉戸神社)
1・2を結合するルートですが、時間・体力が必要。急傾斜・迷いやすい点があるので、YAMAPなどの登山アプリの利用がおすすめ。
※シーカヤックツアー
海から金田城にアクセスするツアーも人気です。



②登山口 (駐車場約5台)



①県道24号線・城山入口

①城山入口(県道24号線上)まで、対馬空港から8.8km、厳原港から15.6km。①～②間是一部未舗装で悪路のため、運転に注意。